

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
電話 44-3006
FAX 44-3029

炎天下のもと 82名 暑さに負けず

大中魂みせてやれ!



やっぱり3年生は強かった...



大人たちも
頑張りました。



大成功!!



2年生感動のゴール!!



集団美を魅せてくれました。

校長杯を制した3年生!!



大宜味中学校運動会



台風16号が去りすっかり天気も回復した9月17日（月）、第33回大宜味中学校運動会が開催されました。台風の影響もあり、今年は体育館での開催となりましたが、保護者や地域の方々からたくさんの声援を受け、生徒たちは日頃の練習の成果を発揮。一度は崩れた組体操のタワーも再度挑戦して成功させるなど生徒たちの演舞に魅了させられました。

午後に行われた学年別の総力リレーでは、去年の事故から驚異的な回復を見せた2年生の前田和輝くんがアンカーを務め、車いすでゴール。会場は温かい拍手に包まれました。

日本一交通安全な村をめざして ～秋の全国交通安全運動～

9月21日（金）、大宜味小学校体育館で平成24年度大宜味村交通安全推進村民大会が開催されました。

「車にも 乗せようマナーと 思いやり」をスローガンに今年9月21日から30日の期間行われる秋の全国交通安全運動。大宜味村も日本一交通安全の村をめざし小学生、中学生、青年会、婦人会、老人会の代表が意見発表を行いました。



意見発表では昨年、自転車の二人乗りで大きな事故にあった中学生の話もあり、いつ自分たちが事故を起こしてもおかしくないこと、自分の身は自分で守ること、そのためにはちゃんとルールを守らなくてはならないことなどが述べられ、改めて交通安全の大切さに気付かされました。



これから涼しくなり、自転車で走るのも気持ちのよい季節となります。自分のためにも家族や友達を悲しませないためにも、ルールを守り、楽しい運転を心がけましょう。

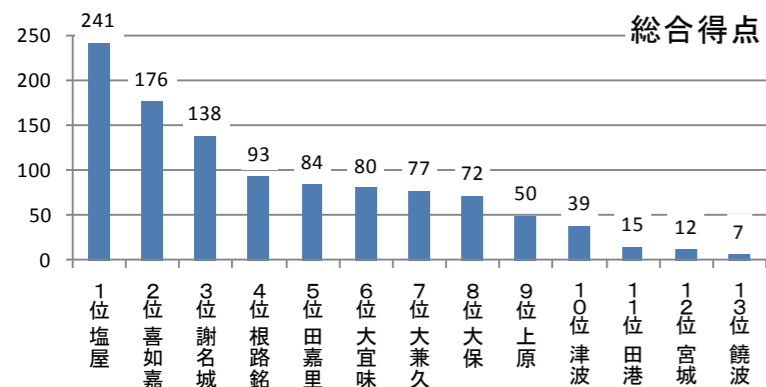
交通安全作文コンクール受賞者

- 名護警察署長賞 平良悠翔（喜如嘉小3年）
- 名護地区交通安全協会長賞 平良優亜（喜如嘉小5年）、平良琉翔（大宜味小2年）
- 村交通安全推進協議会入賞 宮城佑喜乃（大宜味小6年）、新城太然（塩屋小2年）、宮城南美（塩屋小6年）、照屋希紗乃（津波小2年）、花城瑞姫（津波小6年）、金城琉椰（大宜味中2年）

今年も塩屋区完全優勝！！ ～第65回村陸上競技大会～

9月23日（日）、大宜味小学校グラウンドにて第65回大宜味村陸上競技大会が行われました。今年の大会には村から13字が参加。日頃の練習の成果を発揮する人、ぶっつけ本番で力を見せる人、それぞれが競技に力いっぱい取り組みました。今年もダントツで塩屋区が一般男子の部、一般女子の部、壮年の部、総合で完全優勝を果たしました。

また、30代女子100m走では、島袋綾香さん（上原）、大城望さん（大宜味）が去年の記録を上回り大会記録を出しました。



第27回「少年の主張」国頭地区大会

9月5日（水）、宜野座村中央公民館にて第27回「少年の主張」国頭地区大会が行われました。

大宜味村からは大宜味中学校3年の平良結女花さんが出場。部活動を通して学んだ気持ちの変化や周りへの感謝の気持ちを発表しました。おしくも最優秀賞、優秀賞は逃がしましたが、力強い発表をみせてくれました。結女花さんの発表を紹介します。



「部活を通して…」

平良結女花

「ミニバスケット部は廃部になりました。」
 私が小学二年生のある日、先生から突然言われました。私がバスケの楽しさが分かって好きになり始めた頃に『廃部』と言われ、とてもショックでした。
 しかし、数日後にまた新たな部活が結成されました。それは、ソフトテニスというスポーツでした。これから私のソフトテニス人生が始まるのです。
 私はただ何でもいから部活をしたくて、ソフトテニス部に入部しました。部員のほとんどが元バスケ部でした。最初の頃は、何も考えずにただやっていて指導してる監督の話も聞かずにやっていました。
 しかし、三年生になり、冬に大会があり、その大会で、私は一つ上の先輩と組みベスト4に入り、千葉の全国大会へ派遣されました。
 そして、その大会に出場して、沖縄県代表のみんなと交流ができてたりして楽しい、テニスっていいなという気持ちが強くなっていきました。
 それをきっかけに私は真剣にやっていって五年生になった私はペアも変わり気持ち的に少し不安もありました。でも、ペアが変わってから私達は強くなって、全国や九州大会に何回か出場しました。
 そして私は、中学校でもソフトテニスを続けることを決め、大宜味中ソフトテニス部に入部しました。初めての大会では、先輩を相手に負けてしまい、初めて「悔しい」という気持ちが出てきました。
 私は、小学校でも活躍していたので、先輩やコーチからの期待は大きくて、プレッシャーと感じながらも私は楽しんで行こうと思いました。そしたら、チームワークも良くなっていて、地区中体連で初の団体優勝ができました。その時は、とても嬉しかったです。



また先輩たちが抜けて、私達がみんなを引っ張っていくことになって、不安な気持ちでいっぱいでした。新チームになってから、地区団体を制覇することができなくなってしまいました。私達は落ち込み絶望的でした。しかし、コーチはある言葉をくれました。
 「強気で攻めていけ！」
 この言葉をもらって私は気持ちを切り替えていきました。
 それからチームの雰囲気も良くなっていき、中学三年の最後の地区中体連では優勝はできなかったけど、団体・個人ともに県大会出場が決まり、県大会へ向けて一致団結していきました。私達のチームの雰囲気は今までは違って一番良かったと思います。その結果、今まで目標としていた県制覇をすることができ、選手、コーチ、親みんなで大喜びしました。
 目標が達成できたのは、指導してきてくれたコーチやサポートしてくれた親や支援などして下さった学校・地域のみなさんのおかげなんだと思いました。何をやるにも、誰に対しても私達は支えられているという感謝の気持ちをもってこれからも過ごしていく事が大切だと思います。
 それを考えながら何事にも取り組んだりしてマナーを守って過ごしていったら生き方が変わるかもしれません。



海神祭

ウングミ



謝名城のウングミ

かつては謝名城、喜如嘉、饒波、大兼久、大宜味の五集落の神人を集め、五日を要した盛大な祭でした。ウングミの朝、神人たちは駕籠にのって大宜味崎の海まで行って祈禱を行いニライカナイの神をおむかえして、城のアサギに上ったといひます。ノロ殿内で祈りを捧げたあと、カーカーを打ち鳴らしながら御獄に上っていき、アサギでは海の神と山の上の神遊びが始まります。

今では謝名城の神人のみがノロ殿内で祈りを捧げ、集落の子ども達が太鼓を鳴らしながらアサギまで上ります。ナガリもウドンニーズから海に向かってニライカナイにウングミが無事に終わったという報告とお礼をします。



田嘉里のウングミ

かつてはノロが御願を行っていましたが、現在は簡素化され、区長さんと会計さんが行っています。

ウングミの翌日にはウシンデークが行われ、蔵下（クラサ）からはじまり、神アサギ→屋嘉比ヤマグチマー→ヌンドウルチ→蔵下の順で、太鼓の音に合わせて女性が輪になって踊ります。



大宜味村の海神祭・豊年踊り

ウングミは旧盆明けの初亥の日に行われる行事です。ニライカナイから幸福や豊穡（ユガフー）をもたらす神を迎え、つぎの年の豊かな作物の実りを予祝をするもので祈りに始まり、祈りで終わります。

元々、大宜味村では田嘉里、謝名城、塩屋湾で行われてきました。根路銘・上原は明治44年に塩屋から分かれ、独自で行っています。

田港アサギ



屋古アサギ



ナガリ



ファーリー



塩屋湾のウングミ

現在は田港区・屋古区・塩屋区・白浜区・大保区・押川区・江洲区の七ヶ字で行われています。1年交代でウグアンマール（御願年）とウドイマール（踊り年）が行われ今年がウグアンマールの年でした。

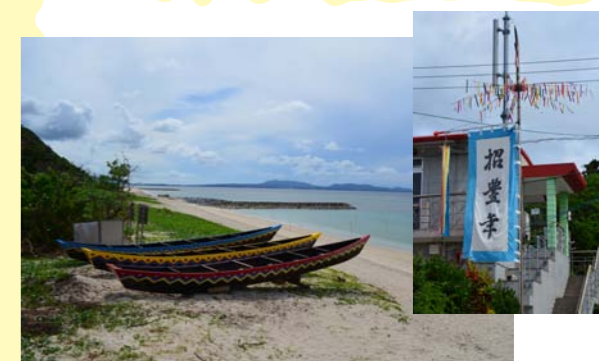
ウングミの前日に神人がそれぞれの根屋やアサギなどに籠って祈願をし、神にこれからウングミを始めるといふ合図をします。当日は神人たちが田港、屋古、塩屋の順に回り神行事が行われます。ファーリーで塩屋のシナバに着いた神人はその後、ナガリという行事を行い兼久浜に行き、ニライ・カナイにお祈りします。

根路銘・上原のウングミ

御願は毎年旧盆明けの初亥の日に行われていたが現在は区長さん、会計さんが行います。

今年は台風16号接近のためファーレー等の行事は中止になりましたが、本来ならば御願後、日を置いてファーレー、婦人エイサー、相撲を行っています。

ニライカナイから神がやってくるため、ハーリー船は根路銘の海岸からいったん海に出てから、浜に戻ってくる形をとります。



??津波のウングミ??

津波には祝女殿内（ヌルドウンチ）、根神屋（ニーガミヤ）、アサギがあり、かつてはノロも存在していましたが、ウングミが行われていたという記述は津波誌、大宜味村史、国頭郡誌にもなく、津波の御願所もわかっていません。

以前は津波にもウングミがあったけれど、遠い昔に途絶えてしまったのか、もともとないものなのか…??

ちなみに…豊年踊りは各部落、隔年で行います。

今年 来年

田嘉里
大兼久・大宜味
白浜

謝名城
饒波
根路銘・上原
塩屋
津波

白浜



大兼久・大宜味

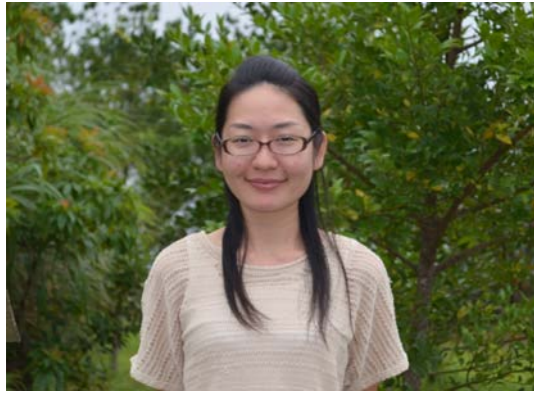


海神祭が終わった後、隔年で字ごとの豊年踊りが行われています。豊年踊りは字独自の演目もあり、今年は大兼久・大宜味、白浜で行われました。

豊年踊り

大宜味 ホット News
～OHN～

江洲出身 儀保唯さん 司法試験合格！！



この度、大宜味村江洲区出身の儀保唯さんが、司法試験に合格しました。

唯さんは塩屋小、大宜味中を卒業後、北山高校、新潟大学へ進学、その後、広島大学法科大学院に進みました。

元々政治に興味があったこと、高校の時、養護学校のボランティアで障害者と健常者が別々に勉強する事に疑問を持ち、なぜこのようになっているのかその仕組み、

法律を学びたいと思いがあり法学部を選んだ唯さん。大学では法律相談部に入り、相談に応えるために勉強したこと、実際に弁護士さんとお話したことで弁護士になりたいという思いがわいたそうです。これから実務を学ぶため1年間司法修習を受ける唯さん。将来は福祉関係に強い弁護士さんになりたいと話してくれました。

※司法試験（しほうしけん）とは…

一般に、裁判官、検察官又は弁護士等になるための国家資格のことで、新制度の開始から7回目となる今年は8387人が受験し、2102人が合格。合格率は25.1%。

◆ 第39回おおぎみ展 ～作品募集のお知らせ～ ◆

開催日：平成24年11月9日（金）～11月11日（日）

会場：塩屋小学校体育館

部門：絵画・彫刻・写真・書道・陶芸・染織・木工芸・民芸・生花

その他（保育所・幼稚園・小学校児童・中学校、高等学校生徒の作品）

募集方法：出品申込書に所定事項を記入し、大宜味村教育委員会へ提出してください。

出品申込書は教育委員会においてあります。

●出品申込書→教育委員会 11月1日午後5時まで

●作品搬入→塩屋小学校体育館 11月8日（木）午前10時～

※作品は塩屋小学校体育館に持ってきてください。

会場に職員がおりますので、声をおかけください

◎募集規定、応募資格など詳細につきましては、募集要項（別途配布予定）をご覧ください。

お問い合わせ 大宜味村教育委員会 教育課 担当：田仲 TEL 44-3006

寄付

「塩屋小学校へ」

宮徳建設 宮城則和様 20万円
平成24年9月11日寄付

「人材育成基金へ」

塩屋 島袋好子様 15万円
故 義姉 常子さんの香典返しとして
平成24年8月17日寄付

教育委員と聞いたら「厳格」とか「お堅い」とかそんなイメージはありませんか？

大宜味村への熱い思いを持ちつつ、実は気さくな先生方。このコーナーではそんな先生方の教育に対する思いや地域への思いなどを様々な形で紹介したいと思います。

教育委員だより

「平成24年度大宜味中学校生徒会リーダー研修会」

吉田春子

「リーダー研修会」は生徒会長・宮城怜奈さん、顧問・宮城静香先生、副顧問・久貝穰治先生の率いる生徒会行事です。今回の研修の内容は「物作り活動、調理実習、清掃活動」で、生徒会執行部、各生徒会専門委員会、各学級前期、後期学級長、副級長の計27名が参加しました。

今年の研修会のねらいは①生徒会、学級を活発にする為に、企画、討議、実践に関わる力を高め、学んだ事を学校行事に生かす。②学校生活、自分を見つめ直す事を学びながらリーダーとしての力量を高める。③集団生活における規律ある行動を身につける。これららをねらいとして平成24年7月31日（火）、大宜味中で講師を招いてこれまで見たことのない凄い体験をしました。

物作り活動は、生徒たちにとって初めての「ほうき作り」。本校PTA会長の宮城功光さん（塩屋）、村民生委員の宮城広美さん（白浜）、村民性委員・人権委員の島田哲夫さん（塩屋）、塩屋区長の知念章さん、屋古区長の真謝清さん5名を講師に招いての体験活動です。昔ながらの「ほうき作り」の貴重な体験を通して大宜味中学校のリーダー達は、満足な達成感に浸っていた一日となりました。ほうきの材料を提供して下さった田嘉里出身の山城栄三さんありがとうございました。



昼食は生徒自らカレー作りに挑戦。みんなで頂いたカレーの味も最高♪でした。その後、手作りのほうきで校庭の掃き掃除と川の清掃をしました。できたてのほうきを使う嬉しさもあって、学校がきれいになりました。

久しぶりに「ほうき作り」という懐かしい場面に直面して、一瞬鳥肌が立ちました。実は、私も50年前(!?)の夏休みに「内ほうき」を作った経験があります。

昔は、学校への提出物は全て保護者の手作りだったものです。雑巾も使い残したタオル、古生地で作ったりしました。今年の研修会の竹ほうきを機に思い出したのが、内ほうきです。私が小中学生の頃は稲作が盛んで、稲刈りをした後、脱穀した後のわらを穂先から50センチぐらいで切り落とし、穂だけ抜き取り、束にして左右に3束ずつまとめ、針金で締めて完成。力のいる部分は中学生のお兄さん達が手助けして仕上げたのを思い出します。わずか1日のことでしたが、おそらく人生の中でこんな凄い経験はないだろうなあ。あるとするなら皆さんが大人になった時、先輩から受け継いだ事を、いつかどこかで後輩たちに伝える時かもしれませんね。

大城校長も次のように言っています。「大宜味には目に見えるもの、見えないものなどいろんな財産があります。それを埋もれさせておくのはもったいない。ぜひ、それを後輩たちに伝えて残したい。今回のほうき作りは地域の良さを感じるいい経験になりました。次回は炭焼きに挑戦します。ぜひ地域のご協力をお願いしたいです。」

毎朝皆さんが作ったほうきで清掃をしています。素晴らしい企画提案に感謝!!



ドゥーチユイムニー（独り言）

友寄景善

塩屋湾のウンガミの日は、港内の賑やかさとは逆に役場はとも静かになる。塩屋を始めとする港内出身の職員がウンガミに関わるためである。国指定の文化財だけあって、地域の人々のウンガミに対する思いや熱意、そして意気込みを感じることが出来る。午後からのハリユー船競漕と奉納角力を見学した。ハリユー船競漕の特徴は何といてもその漕ぎ方にあると思う。舟ベリのてっぺん部分（正式な名称教えてください）に腰を下ろし、上体をねじったままの姿勢で漕いでいる。このような漕ぎ方は塩屋湾以外に知らない。なぜこのように漕いでいるのか不思議に思っている。漕ぎ手に混ざって、立ったままの姿勢で太鼓を打ち続ける人、船内に溜まった水（アカ）をすくい上げ天高く放出する役目の人等、他の地域とは異なるハリユー船競漕である。漕ぎ手には、塩屋小学校の職員も数名参加していた。私は部外者であるが、漕ぎ手に加わることが可能ならば、一度は体験しその違いを実感してみたいものである。

ハリユー船競漕の後、青年浜で行われた奉納角力を観戦した。土俵際に坐して観戦するつもりでいたが、勧められるまま来賓用の立派な仮設スタンドから観戦させて頂いた。腰掛とテーブルが用意され、飲み物のサービスを受け、躊躇しつつも、ゆっくり観戦することができた。

小学一年生から中学生そして高校生も参加し、青年や若手の皆さんが審判や解説の放送などを務め、手際よく進めていた。特に今年は、殆どの小学生が参加したという。数日前から練習を行い、それを踏まえ当日の組み合わせを決めたようである。一年前事故に遭い、回復の途中にある大宜味中二年生の前田和輝君も車いすから観戦し、級友に拍手を送っていた。全快をお祈りします。

伝統行事は子どもからお年寄りまで、皆が関わり支え合い、今日まで続いてきた。学校の特別な配慮もあり、児童生徒も参加できた。地域との一体感を実感したウンガミであった。

今月の生きもの

サキシマフヨウ：アオイ科



水もしたたるいいお花♪ど〜も、サキシマフヨウです。有名なサキシマスオウと発音は似ているけど、全然別もの。私はこの時期に咲き誇る花（低木）なの。方言ではヤマユーナ、ヌーユーナと呼ばれていて、オオハマボウ（方言名：ユーナ）やハイビスカスの仲間。花は朝に咲くものだけれど、朝方は白っぽく、夕方には桃色に変わっちゃう（桃色が強くなる）。一日でしぼんでしまうから花の時期は短い。秋の山道をドライブしてみて、道沿いでよく会えるはず。

～編集後記～

今月号では、大宜味村のウンガミ、豊年踊りを特集で載せてみました。簡単にまとめるつもりがビックリ!! 調べていくうちに新たな疑問がわいたり、よくわかっていないことがあったり…、自分の無知さを痛感させられました。今回はすでにわかっていることを書いたつもりですが、事実と違っていたり、新たな知見などあれば教えてください。

🍁10月の行事予定🍁

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1日（月）区長会・振替休日（各小・中） | 17日（水）校内お話大会（喜小） |
| 6日（土）地区中学校陸上競技大会 | 村教委学校計画訪問⑤（塩小） |
| 塩屋保育所運動会 | 18日（木）村教委学校計画訪問⑥（喜小） |
| 7日（日）幼稚園運動会 | 19日（金）村学校保健委員会②講演会 |
| 8日（月）体育の日 | 20日（土）辺土名地区ミニバスケ交歓会 |
| 9日（火）振替休日（幼） | 21日（日）郡陸上競技大会 |
| 13日（土）喜如嘉保育所運動会 | 県民体育大会ゴルフ競技 |
| 14日（日）大保ダム祭り | 25日（木）村童話お話大会 |
| 16日（火）校内お話大会（大小・塩小・津小） | 28日（日）老・婦合同スポーツ大会 |

